

# 交遊抄

俳優の今井雅之氏は互いに刺激し合える友人だ。初めに会ったのは松下政経塾を卒業して二年を経た一九九〇年。

共通の友人に紹介され、東京・下北沢の居酒屋でビール片手に彼は反戦をテーマにした演劇の構想を、私は国政への思いをそれぞれ熱く語り、あつという間に意気投合した。

今井氏の構想は「ザ・ウインズ・オブ・ゴッド」という題の演劇となつて世に出た。これが文化庁芸術祭賞などを受賞し、今やテレビドラマにも出る有名人だ。自衛隊出身というのも影響しているのかも知れないが、演技、特に表情からは氣迫が伝わってくる。

雅之氏は互いに底知れないエネルギーを感じるのだ。

九三年の衆院選で初当選した後は多忙続きだつ

たが、彼が都内で演劇をする時は必ず見に行つたし、よく六本木などで飲んだ。互いに刺激し合えるのは、演劇にしても政治にしてもいかに相手に思いを伝えるかが勝負という点で共通しているからだと思う。

也 達

## 演劇と政治

伊 藤

金融改革で大忙しの金融庁の担当副大臣に就任してからは、残念ながら今井氏となかなかか会えない。絶えず前を向いている彼は、今度は映画の構想を温めているようだ。お互い、へんに丸くならずに突っ張り続け、それを自慢し合える仲でいたいものだ。(い

大臣)